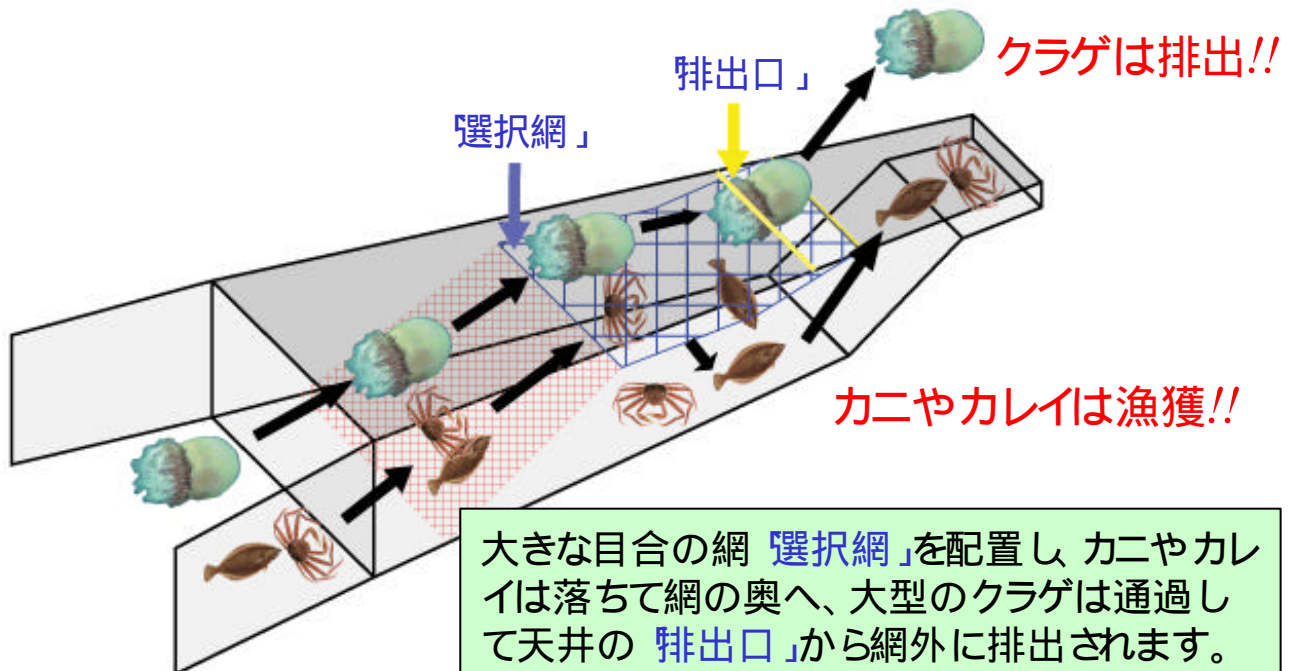


# 大型クラゲ防除網(底曳網)の開発 (海洋センター)

大型クラゲの大量入網により、破網や選別作業の遅延、水揚物の鮮度低下等の被害が多発しています。水揚げする魚介類(ズワイガニやカレイ類)は漁獲し、大型クラゲは曳網中に網外に排出できる「クラゲ防除網」の開発を行いました。



漁獲されたズワイガニ、カレイ(左)と排出されたエチゼンクラゲ(右)

本防除網は(独)水産総合研究センター監修「大型クラゲ対策漁具改良マニュアル」に記載され、実際に使用した漁業者からも好評を得ています。一方、小～中型のエチゼンクラゲの排出率が低かったため、今後、さらにクラゲと漁獲物との分離の精度を向上させるための開発調査を行う予定です。